



南東北グループ 医療法人財団 健真会
総合東京病院広報誌

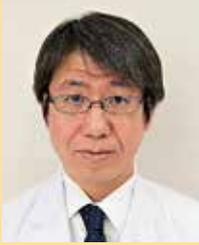
Letter vol.36 2025 **3**

医療連携支援センター 地域連携室 TEL: 03-3387-5444
編集・発行/総合東京病院 印刷/石井電算印刷株式会社



特集

肥満症と新しい薬物療法 ～インクレチン関連薬について～



糖尿病・代謝内科
科長
坂本 健太郎

肥満は脂肪が過剰に蓄積した状態ですが、これによってさまざまな健康障害を引き起こすことがあります。それらを含めて肥満症と呼ばれています(図1)。肥満症の状態は医学的に減量が必要な状態と考えられ、食事・運動・行動療法のほか、薬物療法や外科療法も行われます。最終的には治療によってQOL(生活の質)の改善を目指すものです(図2)。

インクレチンホルモンは腸管から放出されるホルモンで、その製剤は血糖値を調節する作用のほか、食欲調節を行って減量も期待できる薬剤として糖尿病治療に用いられてきました。

さらに用量を増やすことにより、用量依存的に減量効果を発揮することがわかったことから、最近GLP-1、GLP-1/GIPと言ったインクレチンホルモンが肥満症に対し保険での使用が認められるようになりました(図3)。週1回の投与を1年間続けることにより、平均10%以上の体重減少が可能というデータが得られてきており、当院でも使用が可能になりつつあります。

ただし使用に際しては、BMI 35kg/m²以上の高度肥満、またはBMI 27kg/m²以上で2つ以上の肥満に関連した健康障害を有すること、また食事療法・運動療法も含めた治療を6か月以上行い十分な効果がないことが必要となります。また、関係する専門医の在籍する施設で治療が行われることにも留意が必要です。

図1：肥満の定義

肥満の定義、および肥満症の定義と診断

肥満の定義 脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、体格指数(BMI=体重[kg]/身長[m]²) ≥ 25 のもの。

肥満度分類の判定 BMI ≥ 35 (\geq 肥満3度)を高度肥満の定義とする。

肥満症の定義 肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測され、医学的に減量を必要とする疾患。

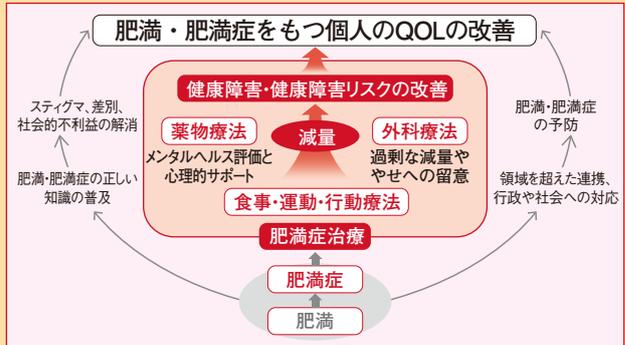
肥満症の診断 肥満と判定されたもの(BMI ≥ 25)のうち「肥満症の診断に必要な健康障害」を合併する場合、肥満症と診断する。内臓脂肪型肥満と診断される場合は、現在健康障害をともなっていないことも、肥満症と診断する。

*内臓脂肪型肥満の診断

ウエスト周囲長のスクリーニングにより内臓脂肪蓄積を疑われ、腹部CT検査などによって内臓脂肪面積 ≥ 100 cm²が測定されれば、内臓脂肪型肥満と診断する。

肥満症診療ガイドライン2022.ライフサイエンス出版 より抜粋

図2：肥満症治療の目的



肥満症診療ガイドライン2022.ライフサイエンス出版 より抜粋

図3：インクレチンホルモンが保険適用となった



糖尿病・代謝内科
のページはこちら→



予防医学課
PET営業担当チーフ
山川 康弘

今月のキラリストアッフ紹介

私は予防医学課の健康診断の営業担当として2023年に入社し、地域の皆様の健康のお手伝いをさせて頂いております。近隣の企業様や健康保険組合様、法人会様などを中心に訪問し、健康診断、PET検査(全身がんドック)のご提案を行っています。健康診断の目的は、「早期発見・早期治療」です。地域の皆様が健康で幸せな日常生活を送っていただけるよう、最後まで責任を持ってお手伝いさせていただきます。

当院開設から今年で15年目。これまで支えて下さった皆様に、感謝の気持ちでお応えして参ります。どうぞよろしくお願い致します。

趣味はトランペット演奏で、小学6年生から吹き始め、中学・高校で吹奏楽部に属し、途中、西武ライオンズの私設応援団にも属し球場でも吹いていました。社会人になってからは地元の吹奏楽団でも演奏を続けています。



休日はトランペット演奏に励んでいます



ねりま脳神経外科



ねりま脳神経外科
院長
井上 剛 先生

皆さま、こんにちは。ねりま脳神経外科、院長の井上剛と

申します。当院は2024年11月に練馬駅北側徒歩2分、文化センター前に開院致しました。これまでの経験を活かし頭痛外来・もの忘れ・脳梗塞などの脳卒中やその原因となる生活習慣病を中心に診療しております。脳の病気は早期診断、早期治療が必要なものが多いため、当院でも心配な病気を早期診断でき



院内風景

るようにMRI、CT、レントゲン、エコー（超音波検査）、CAVI/ABI（血管年齢）、心電図、睡眠時無呼吸といった検査機器を揃え、可能な限り当日に検査し、当日結果説明を心がけております。そして専門的な治療が必要な場合には総合東京病院の充実した脳神経外科や脳神経内科の先生方と連携させて頂いております。

また症状はないけれども脳の健康状態をチェックしておきたい方やご家族・ご友人で脳の病気をされた方でご自身の心配をされている方々のために各種脳ドックも充実していますのでぜひご活用ください。「脳のかかりつけ」として地域の皆さまの健康と安心を提供して参りますので頭のことでご心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。

ねりま脳神経外科
〒176-0001 東京都練馬区練馬 1-18-8
犬丸ビル 2 階（練馬駅から徒歩 2 分）
TEL：03-5838-5710
診療科：脳神経外科

詳しくはホームページ
をご覧ください→



● 診療時間 月 火 水 木 金 土 日
● 10:00~13:30(受付13:15まで) ● ● ● / ● ○ /
● 15:00~19:00(受付18:45まで) ● ● ● / ● / /
● 休診日：木曜・土曜午後・日曜・祝日・第3水曜午後
○ 9:00~13:00(受付12:45まで)

T O P I C S

■当院医師・理学療法士が中学生へ講演・実技指導を行いました

2025年2月13日(木)、中野区立中野中学校の生徒約390名に、当院リハビリテーション科医師と理学療法士6名が、公益社団法人運動器の健康・日本協会認定スクールトレーナー(理学療法士)と共に生徒に対して講話と実技指導を行いました。

当院リハビリテーション科の知野俊文医師が成長期の体の特徴と運動の大切や、成長期に特有なケガの理解、ケガをした際の杖の使い方について講演しました。

実技では、受験期の3年生向けに姿勢の確認と不良姿勢を改善する運動やストレッチの実技指導を、1・2年生には体の硬さを実感してもらい、ケガの予防や回復を早めるストレッチについて指導しました。



知野俊文医師による講演



姿勢を改善する運動やストレッチの実技指導



市民公開講座

申込不要
参加無料

※開場は開催時間の30分前です。

3月

会場 当院 B棟3F STR東京ホール ◀3月・4月で会場が異なります

3月15日(土) 血液さらさらの薬はどんな病気にいつまで飲むの？

14:00～

講師 心臓血管インターベンション科長 滝村 英幸 医師

3月21日(金) がん検診のすすめ～早期発見の大切さ～

14:00～

講師 予防医学センター 齋藤のぶ子 医師

3月29日(土) 脳神経外科の最近の緊急手術の変化

14:00～

～血栓回収療法・内視鏡的血腫除去術など～

講師 脳神経外科 医長 神野 崇生 医師

4月

4月11日(金) ひざ・股関節の痛みあきらめていませんか？

14:00～

～自宅でできるリハビリから最新のロボット手術まで～

会場 先着150名様

野方区民ホール

講師 総合東京病院 整形外科 小林 大悟 医師 (4/1入職予定)

講演②～調整中～

4月18日(金) ひざ・股関節の痛みあきらめていませんか？

14:00～

～自宅でできるリハビリから最新のロボット手術まで～

会場 先着200名様

練馬区立区民・

産業プラザ

Coconeriホール

講師 総合東京病院 整形外科 小林 大悟 医師 (4/1入職予定)

講演②～調整中～

都合により講演内容・スケジュールが変更になる場合がありますので予めご了承ください。 お問い合わせ(月～土 9:00～17:00) 080-4464-0398

PET-CTがんドック

元気な毎日をいつまでも。
PET-CTでがん早期発見!

○ 全身のがんを一度にチェック

こんな方におすすめです

●50歳以上の方 ●がんの家族歴のある方 ●喫煙などのハイリスク因子をお持ちの方

上記に該当する方は、そうでない方と比べてがんになるリスクが高い傾向にあります。
PET-CT検査で早期発見・早期治療につなげることが大切です。

■ご相談・ご予約 予防医学センター PET-CT担当 070-1341-5540



編集後記

うらかな春の日を感じる季節となりました。同時に花粉の気配を感じている方も多いのではないで
しょうか。季節の変わり目、体調管理を万全にお過ごし下さい。 by きなこ